

舟形町 令和3年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業

1. 団体紹介

舟形町は、山形県の北東部で、最上郡の南端のところに位置します。東部は奥羽山脈の麓から、西南は出羽丘陵の麓まで東西に細長い地形をもつ山林に囲まれた町です。本町の総面積は11,904haであり、多くの森林に恵まれており、その面積は8,554haで、総面積の72%を占めています。

そのうち民有林面積は3,638haで、そのうち杉を主体とした人工林面積は1,585ha、人工林率44%です。本町の森林は、地域住民の生活に密着した里山から、林業生産活動が積極的に行われるべき人工林帯、さらには、部分的ではあるが広葉樹が林立する天然生の樹林帯までバラエティーに富んだ林分構成になっています。今後も本町の森林の維持管理を継続していくために、当事業を活用して次世代につなげる担い手を育む活動に力を入れていきます。特に、担い手となる子どもたちの森林体験や森林学習を通じて、森林資源の大切さを学び、自然を守る心を養います。



県民みんなで支える新たな
森づくりシンボルマーク

2. 活動内容

①地域提案事業：町内ベンチの木製化プロジェクト

【実施日】 11月中旬・間伐についての学習会と中学生によるベンチキットの組立

【活動の内容・感想】

舟形中学校の生徒を対象に県産間伐材のベンチキットの組立作業を予定しています。初めに森林組合の職員から間伐や山形県産間伐材についての説明を聞いたあと、ベンチキットの組立作業を予定しています。

本事業を通して、身近にある豊かな森林資源の重要性を理解するとともに、森林への関心などについて醸成することを目的としています。

②市町村里山再生アクションプラン事業：薬師の森の自然学習会

【実施日】 6月25日、7月23日、10月27日・薬師の森の遊歩道保全整備

7月6日・舟形中学校自然学習会

【活動の内容・感想】

町のパンフレットにも掲載されており、林野庁「遊々の森」に認定されている「ふながた薬師の森」について、マザーツリーより三蔵院修験の滝へ続く遊歩道を保全整備しました。今年度は、標柱の整備と既設案内板の保全を行いました。

7月上旬に、舟形中学校の生徒を対象とした自然学習会を行いました。

マザーツリー周辺整備



自然学習会 出発



自然学習会 三蔵院修験の滝



自然学習会 マザーツリーの周り



③市町村里山再生アクションプラン事業：長尾町内会と町の協働による念仏の松保全事業

【実施日】 5月25日・郷土の名木・古木等保全事業、樹木医による診断・指導

6月2日・松くい虫防除薬剤散布作業

6月6日、8月1日・地域住民による「念仏の松」周辺の草刈り作業

【活動の内容・感想】

町の天然記念物「念仏の松」は、町の観光資源の1つとして町や長尾町内会を中心に維持管理を行っています。長尾町内会による「念仏の松」周辺の草刈り作業等の環境整備により、訪れた方々が気持ちよく鑑賞できるようになっています。

また、薬剤散布による松くい虫防除により、町の財産を保全することができました。

今年度は、公益財団法人山形県みどり推進機構の郷土の名木・古木等保全事業の助成を受けて、樹木医の診断と指導を受けています。

樹木医による診断・指導



樹木医による診断・指導



薬剤散布による松くい虫防除



地域住民による草刈り作業



④市町村里山再生アクションプラン事業：亀割山森林学習事業

【実施日】 6月20日、7月4日、10月17日・亀割山登山道維持管理整備

【活動の内容・感想】

その昔、源義経一行が平泉へ逃げ延びる際に通ったとの言い伝えが残る亀割峠ですが、ここに通じる、舟形町側長尾口からの登山道について今年度は案内板を整備し、維持管理しました。今後は地域住民を対象としたトレッキングと組み合わせた森林学習イベントを開催する計画をしています。

亀割山登山道



登山道維持管理



登山道案内板整備



登山道案内板整備



⑤市町村里山再生アクションプラン事業：舟形小学校“森の積木広場事業”

【実施日】 11月中旬・広葉樹で作った積木を使用し、樹木や自然、木材について学びます。

【活動の内容・感想】

舟形小学校の生徒を対象に広葉樹で作った積木を使って親子で遊ぶイベントを行うことで、森林資源への関心及び木材の活用への意識の醸成を図ります。これにより、参加者全員が木材の素晴らしさを感じるとともに、自然環境や天然素材に対する興味や関心を持ち、町内に生えている樹木や自然、木材のことを参加者とともに学びます。